

令和4年度 谷戸のびのび保育園 事業報告書

1 令和4年度の概要

保育園は子どもの生活の大半を過ごす場所であり、乳幼児期は人間形成の基盤を作る大切な時期でもあるためコロナ禍ではあったが、感染対策を十分に行いながら、出来る限りでの通常に近い形での保育を行った。基準より多くの職員を配置しているため、子ども一人一人に寄り添ったゆとりある保育を行うことはできた。また勤務時間内に事務時間を確保することができているので職員自身も余裕を持って業務を行う事が出来き、働きやすい職場環境の継続ができています。新型コロナウイルス感染拡大予防のため行事などを見直す機会があったが、内容を工夫することで子どもも大人も楽しめる新たな契機となった。

2 振り返り

(1) 保育目標の実践

- ・保育士ひとりひとりが保育目標を概ね実践することができた
- ・コロナ禍の中、感染対策を行いながら、様々な行事、園外活動の形態の変更を行ないながら、できる限り例年と変わらないよう豊かな経験ができる機会を取り入れた。
- ・新設ホールを活用することにより、保育の幅を広げることができた。
- ・分園本園の園児・職員が協力し合う事で互いに刺激しながら保育することができ、分園児の本園への進級もスムーズに行う事が出来た、
- ・田無すくすく保育園を含めた三園の保育士がそれぞれ別の園を訪れて実習し他園の保育のやり方などを学び保育に生かせるようにした

(2) 保護者支援

- ・事業計画に従い支援を行った。コロナウイルス感染という特別の出来事に対し園で出来る最大限の感染対策を行い、保護者に周知し理解してもらい安心してもらうようにした、
- ・孤独な育児とならないよう休みの児童にもズーム保育を行うなどして、保護者や園児とつながりを持てるようにした。
- ・幼児の給食費を1日単位で徴収することにより、公平感を打ち出している。

(3) 地域の子育て支援

- ・保育園児の感染予防を最優先としたため外部との接触は極力避けるため特別な子育て支援は行なわなかった。

(4) 職員構成

- ・各クラスには経験・年齢を考慮したバランスの良い保育士を配置し、分園と共にリーダー層が安定したクラス運営を行った。
- ・加配児童のいるクラスには専属のパート職員を配置して、園児の情緒の安定を図った

3 児童利用状況

月極利用児童受託状況

本園	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
定員	6人	15人	15人	26人	26人	26人	114人

4月利用者	6人	15人	14人	26人	25人	26人	112人
10月利用者	6人	15人	15人	26人	26人	25人	113人

分園	0歳児	1歳児	2歳児				合計
定員	5人	10人	11人				26人
4月利用者	5人	10人	11人				26人
10月利用者	5人	10人	11人				26人

保育園開園時間

標準時間基本保育時間	7:00~18:00
標準時間延長保育時間	18:00~20:00
短時間基本保育時間	8:30~16:30
短時間延長保育時間	上記以外を超えた時間

5 職員（4月1日時点）

常勤職員 26名			非常勤職員 29名			
施設長	1名					
保育士	20名		保育士	16名		
					保育補助	5名
看護師	1名					
栄養士	1名					
調理員	2名		調理員	4名		
			環境整備	1名		
事務員	1名					
			嘱託医	3名		

※ 常勤保育士1名 5月より病欠・産休・育休を取得

6 運営報告

〈1〉会議内容

施設内会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体 会議	18日	26日	日	29日	9月2 日	30日	28日	25日	16日	20日	25日	25日
リーダ ー会議	27日	18日	23日		10日	14日	17日				7日	

幼児	19日		15日									
乳児	18日											
給食	26日	24日	28日	26日	30日	27日	25日	29日	27日	24日	22日	23日
運営委員							21日					10日

〈2〉係内容

衛生管理者	日々の点検を中心にマニュアルに基づき園内の衛生に努めた
食品衛生管理者	マニュアルに従いアレルギー対応や衛生の徹底に努めた
防火管理者	消防設備点検報告書を消防車へ届けた・BCPの作成
研修委員	園内研修の企画立案を行った（別紙参照）
慶弔係	職員の慶事・弔事に対し対応し代表して気持ちを伝える

7 保育計画

〈1〉子どもの保育目標

新型コロナウイルス感染というイレギュラーなできごとはあったが、そのような状況でも「こころもげんきな子ども」を保育目標として、心身ともに健やかに成長出来るよう、年齢ごとの指導計画に従って保育を行った

〈2〉年間行事報告

新型コロナ感染拡大予防を第一に考え、年間行事予定をもとに行事内容を変更・縮小して実施した。感染対策をしっかりと行ったうえでの行事だったので保護者には好評だった

・中止した行事

敬老会 獅子舞 人参堀

・縮小した行事

運動会 年少・年中・年長児、各クラスごとに園庭で参加人数を制限して行う

発表会 2歳児からクラスごと参加人数を制限して行う

卒園式 保護者2名までで行う

おとまり会 昨年と同様にデイキャンプに変更

子どもだけが参加する行事についてはクラスごとに行った

〈3〉食育実施報告

新型コロナウイルス感染拡大予防のため、計画を変更しての食育活動となった

(1) 野菜の栽培・収穫・試食

園全体で野菜を植えて観察し、年長児が収穫試食した。

(2) 調理保育

感染予防のため年度途中までは調理保育をひかえていたが、後半年長組がパンやピザなどの調理保育を行った。発酵の様子も見る事ができて食への関心が深まった

- ・年長児は遠足でじゃがいも堀り・さつまいも堀りを行い野菜への関心を深める機会を作った

〈4〉保健実施報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	21日	10日	7日	13日	3日	8日	12日	9日	14日	24日	28日	9日
園児	21日						12日					
歯科		24日								13日		
眼科			15日									
歯科衛生						16日						
職員健診				26日								
職員検便	15日	20日	10日	15日	18日	20日	14日	11日	15日	19日	10日	9日

〈5〉各種点検報告

- 危機管理 各担当が安全点検・事故防止・SIDSチェックを行った
 衛生管理 各担当が衛生管理・個人衛生管理・検便細菌検査チェックを行った
 健康管理 保健関係・身体測定・健康診断実施済み
 運営委管理 自己評価済み

〈6〉環境整備

各種マニュアルに従い環境整備に努めた。

8 危機管理

〈防災〉避難訓練 4/25, 5/23, 6/30, 7/28, 8/31, 9/2, 10/28, 12/7, 12/27, 2/3, 2/27, 3/30

〈怪我・事故防止〉①受診件数 4月0件・5月0件・6月1件・7月0件・8月1件・9月0件
 ・10月1件・11月2件・12月1件・1月1件・2月1件・3月0件
 打撲・口唇打撲など計8件

②インシデント4月2件・5月2件・6月7件・7月2件・8月3件・9月4件
 10月2件・11月0件・12月2件・1月1件・2月4件・3月1件 計件

③アクシデント4月11件・5月8件・6月6件・7月6件・8月14件・9月3件・
 10月24件・11月11件・12月11件・1月3件・2月4件・3月5件・計106件

〈防犯〉 職員会議にて危険個所の確認

〈光化学スモッグ〉学校情報をもとに行動した

9 ボランティア・実習生の受け入れ

〈ボランティア〉 新型コロナウイルス感染拡大予防のため受け入れ中止

〈職場体験〉 新型コロナウイルス感染拡大予防のため辞退

〈実習生〉 新型コロナウイルス感染拡大予防のため受け入れ中止

10 職員育成と研修報告

〈研修内容〉

- ① 園内研修 4/8 「倫理要綱」「保育理念」「保育目標」の読み合わせ
- 5/26 AEDの取り扱いについて、止血の手順、嘔吐・下痢の対応
- 6/24 月案・週案・保育日誌の書き方について
- 7/29 リトミック
- 9/2 西東京市保育の質のガイドライン
- 10/4 保護者対応について
- 11/25 CAの仕事とコミュニケーション講座
- 12/16 手話
- 2/25 ロールプレイ
- 3/25 インシデント・アクシデント振り返り

- ②外部研修 正規職員が合計20件の外部研修に参加した

11 地域交流報告

新型コロナウイルス感染拡大予防のため園庭開放を行わず、ハロウィンの時はできるだけ地域の人と接触しないようにした

12 小学校との連携

児童要録・就学支援シートを各小学校へ提出し、学校担当者に分かりやすく情報を伝えるようにした

13 要支援児童への対応

- ・気になる園児に対しひいらぎに連絡し巡回指導をしてもらった
- ・職員会議時にケース会議を開き情報共有を行った
- ・児童相談所・子ども家庭支援センターと情報共有しながら要保護児童の対応を行った